

①NO.	②具体的な取組項目	③質問事項	④担当課	⑤担当課からの回答
2-1	将来ビジョンの進行管理	<p>戦略指標について、中身を吟味すると意味がないと思われるものがある。</p> <p>①生産組合数について、生産組合が経営的な問題・後継者問題等で立ち行かなくなっている組合もあり、組合数のみで評価することはいかがなものか。 ②地産地消の市民理解度について、何を根拠としているのか不明である。 ③自主防災組織の組織率について、活動が行われているかという面で評価すべきである。 ④道路改良率について、根拠となる具体的な数値が不明である。 ⑤推進委員会(有識者会議)について、機能しているとは思えない。</p> <p>真の意味で佐渡市の将来について俯瞰し、多角的な視野で論議されているとは思えない。この点についてどのように考え、戦略指標についてはどのように整理していくのか。</p>	企画課	<p>各年度当初に「経済活性化戦略指標」に対する実績を各課から集約し、併せて「実績に対する評価・今後の対応」について確認している。</p> <p>①生産組合数について、ビジョン策定当時は徐々にではあるが増加するものと推測したが、現在、既存の組合等に農地が集約されるなど、目標値の75団体(累計)に達していないのが現状である。ご指摘のとおり、「組合数」ではなく「集約化された面積」などを数値目標とすべきであったと考える。 ②地産地消の「言葉そのもの」や「取り組み内容」などについて、地産地消推進計画の策定毎(H22、H27)に市民アンケートを取っているものである。 ③自主防災組織については、ビジョン策定当時は組織率の更なる向上を目指していたという背景がある。現状では、ご指摘のとおり、組織率よりも活動内容に重きを置く指標とすべきであると考えます。 ④道路改良率は、道路構造令の規定に適合している道路の整備率をいうもので、全国的にも数値が低い新潟県と比較しても佐渡市は更に低い状況にある。このため、安全で安心して暮らせるインフラ整備の指標として採用しているものである。 ⑤推進会議(有識者会議)はH29年度は1回も開催されなかったこともあり、切れ目なく継続した議論できていなかったことは、ご指摘のとおりである。</p> <p>今年度策定する第2次ビジョンの進行にあたっては、戦略指標をいかに的確なものにするか、進捗管理方法はPDCAサイクル等を用い、乖離している指標は必要に応じて変更するなど、最上位計画であるビジョンの重要性を職員1人1人が改めて認識する必要がある。</p>
		<p>①第2次ビジョンの策定過程は見えるが、H30年度の進捗管理の過程が見えない。進捗管理は行ったのか。 ②①において、進捗管理を行ったのであれば、H31年度戦略目標37項目についての実績データはどのように推移しているのか示されたい。 ③R1年度末において、戦略目標値に届きそうにもない項目について、担当課にどのような指示や指導をしたか。</p>	企画課	<p>①前述のとおり。 ②別紙「佐渡市将来ビジョン戦略指標進捗管理」H31(R1)年度版のとおり。 ③検証や指示・指導まで行っていないのが現状である。</p>
2-2	事務事業の再編・整理	<p>①67事業の進捗状況の把握はしたのか。 ②「事業評価に至っていない」の意味は何か。 ③「事業を相対的に評価できない」の意味は何か。 ④H29年度まで評価して公表してきたのに、H30年度は公表出来ないのはなぜか。</p>	企画課	<p>①評価シートを元に、上半期の実施計画および下半期へ向けての課題・対策、また下半期の実施計画について照会し進捗状況の把握に努めた。 ②①の結果をもとに理事者評価を実施し予算査定へリンクさせることが目的であったが、予算査定の実行において評価シートを活用していない。 ③限られた予算の「選択と集中」を図る中で、事業全体を一定の尺度に基づいて評価しスクラップ&ビルドに繋げることが理想と考えているが、現状、そのような評価には至っていない。 ④行政評価制度については、H28年度時点において、行革ヒアリングは実施せず、「花まる通信簿」の公表のみとするスタイルとなったことを踏まえ、本来目的を果たしていない点、また、職員負担に鑑み、「花まる通信簿」の作成について行わないこととした。</p>

①NO.	②具体的な取組項目	③質問事項	④担当課	⑤担当課からの回答
2-3	補助金等の見直し	<p>社会福祉協議会について、補助金の縮減と並行し、経営改善にもっと鋭く切り込み指導すべきである。「第3次佐渡市地域福祉計画 佐渡市地域福祉活動計画」においても、佐渡市と社会福祉協議会は連名で掲載されており、社会福祉協議会は佐渡市の社会福祉事業を推進する上で重要なパートナーとしての位置づけが鮮明になっている。それにも関わらず、社会福祉協議会に内在する問題がおざなりになっているとしか思えない。佐渡市が認識している社会福祉協議会に内在する問題点は整理できているのか。</p> <p>①H30年度の運営費補助金を2千万円減額したと言っているが、それでも1億1,706万円となっている。介護保険事業を13億円強もっている団体である。もっと自主財源を求めべきではないか。バランスシートを見ると、資本の部の積立金等が十分あり、むしろ優良企業並である。 ②社会福祉協議会に求められるのは、介護保険事業等の「業務改善」や「生産性の向上」「職員の資格取得」等と思われるが、その点についてはどのように考えているのか。 ③海外ではいろいろなイベントの会場で「Fund Raising(募金集め)」をしている姿を見かける。社会福祉協議会も実施してみてもどうか。</p>	社会福祉課	<p>社会福祉協議会も一法人であることから、法人の自立に向けた自主財源の確保や経費の節減、業務改善の取り組みや組織体制の見直し等が必要と考えている。</p> <p>①法人全体の決算では、毎年積立金を取り崩し赤字補填しているのので、一層の収入確保に努める必要がある。 ②そのため、業務改善や生産性の向上、職員の資格取得・有資格者の確保等は重要と考えている。 ③イベント会場での募金については、共同募金事業や歳末たすけ合い運動で呼びかけを行っており、今後もご指摘を踏まえ、引き続き協議していく。</p>
2-3	補助金等の見直し	<p>①佐渡市の6大祭りに対する補助金について、「補助金予算総額を削減し、H30年度48,720千円をR1年度46,250千円にした」との記述があるが、この数字は何を指しているのか。(6大祭りの補助金は、所要額の40%前後で、総額でも18,000千円前後ではないか) ②補助金の効果はどのようにして計っているのか。 ③観光振興課と連携しているか。観光振興課から、祭りを盛り上げ、観光客を呼び込むためのいろいろな提案があるか。</p>	地域振興課	<p>①補助制度の見直しにより、H29年度から地域振興イベント支援補助金(6団体)と元気な地域づくり支援事業補助金を統合したため予算総額が増加した。 ②申請団体からの報告(「事業実施による具体的効果」「参集人数等」)及び「事業実施の工夫・改善点」を基に効果の有無を確認している。 ③観光振興課からの誘客対策等の提案はないが、今後はどのような支援が可能か観光振興課と協議をしていきたい。</p>
2-3	補助金等の見直し	<p>①H25年度とH29年度のバス利用者の動向を見ると、生活交通路線(廃止代替路線)の乗客減少よりも一般乗車路線(本線)の乗客減少が大きく、本線の収支率が随分悪化している。本線の改善策が急務ではないか。この点についてどのように考えているのか。</p> <p>①有人国境離島に基づく国の地域社会維持推進交付金を活用して島民割引を行っているが、車両航送の割引対象が乗用車のみとなり自転車、原付、二輪は除外されている。法律等で何らかの制約があるのか? ②今後上記の乗用車以外の乗用具にも適用する予定があるか?</p>	交通政策課	<p>①一般乗合路線(本線)は民間バス事業者が経営する路線であり、市からの補助対象路線ではない。</p> <p>①当該交付金制度は離島住民を対象とするもので、車両航送は制度の対象となっていない。 ②①より、予定はない。</p>

①NO.	②具体的な取組項目	③質問事項	④担当課	⑤担当課からの回答
2-3	補助金等の見直し	<p>シルバー人材センターについて、自己評価においては「アンケート結果について高評価」と記載しているが、その情報は開示されているのか。また、何を持って高評価としているのか示されたい。認識が甘いのではないか。</p> <p>①シルバー人材センターとの協議については、補助金の決定時期と期末の報告時期しか行っていないように感じる。協議はどの程度の頻度で、どのような内容について行っているのか示されたい。</p> <p>②シルバー人材センターに対しては、「スキルアップ」「安全性」の研修のように、もっと強力な指導が必要ではないか。高齢福祉課との関係では、待鶴荘の不祥事が発生したことも含め、もっと「人材育成」の研修に力を入れるべきではないか。その点についてどのように考えているのか。</p> <p>③顧客満足度のアンケート実施について、シルバー人材センターに丸投げし報告のみ聞くという姿勢では問題があるのではないか。八百長をさせているようなものではないか。この点について、どのように考えているのか。</p>	<p>高齢福祉課</p> <p>高齢福祉課</p>	<p>高評価とした理由については、100人にアンケートを実施し(回収率=49%)、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の仕上がりについて「満足」「どちらかといえば満足」との回答が約92% ・料金について「今のままで良い」との回答が96.6% ・「今後もシルバーを利用したい」との回答が96% <p>であったためである。</p> <p>しかし、一方では「仕事の種類や料金表の周知をしてほしい」「請求書の明細を添付してほしい」「若い会員のほうが良い」等の意見や要望があった。今後は、アンケート内容の見直し、地区別集計及び会員に対するアンケートの実施等、シルバー人材センターと協議しながら作成し、客観的な評価を得なければならないと考える。その結果を受け、高評価の点は継続し、改善すべきところは改善する。</p> <p>①協議については、当初と期末の2回のみである。今後は綿密な協議を行いたいと考えている。</p> <p>②シルバー人材センター等の人材育成については研修を重ねていくことが必要であると考えている。シルバー人材センターと協議のうえ必要な研修、また人材確保について検討する。主な研修等については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○佐渡市シルバー人材センター講習会(H30年度) ・安全性とスキルアップを目的に、草刈機安全使用講習会を国仲地区、南部地区で実施。 ・事故防止、安全意識の高揚を目的に安全運転講習会を実施。 ○新潟県シルバー人材センターが実施する研修会 ・総合事業サービス担い手養成研修。 <p>③今後は、シルバー人材センターと連携のうえアンケートを実施し、結果の検証を行うこととする。</p>

①NO.	②具体的な取組項目	③質問事項	④担当課	⑤担当課からの回答
2—3	補助金等の見直し	①各地域の個人商店が苦戦しているのは理解できる。しかし、「後継者の伴走型支援を積極的に進める」「合併しない」という商工会の戦略はいかなものか。大規模店に個人で対抗する時代ではなく、連携しニッチ市場で生き抜いていく時代と思うが、担当課はどのような認識を持っているのか。 ②「国仲地区、南部地区で商工会が積極支援した」とのことだが、どのような進展が見えたのか。	地域振興課	①今年度商工会で策定予定の経営発達支援計画において、市も策定に関わることで今後の方針について検討していきたい。 ②国仲地区4商工会(金井・新穂・畑野・真野)が連携して国の発達支援機関認定を取得し、小規模事業者の持続的発展の支援を行った。また、南佐渡地区3商工会で広域連携し、経営発達支援計画を策定した。しかしながら、いずれも活発な進展が見込めるまでには至っていない。
2—3	補助金等の見直し	①補助金総額について、ガイドラインはあるのか。(例えば、予算全体の○％程度等) ②補助金が正しく効果的に使われているか、チェックする役割は財務課(補助金適正化推進係)でよいか。 ③「佐渡市補助金等交付規準」(H29.4.3佐財第568号)の第32条(1)に「補助事案毎に”費用対効果”を毎年算出すること」とありますが、実行しているか。	財政課	①ガイドラインはない。 ②事業の評価は、所管課が目標を設定し検証を行うこととなっている。 ③費用対効果が算定できる事業は、各課で評価を行うこととなっている。
4—2	博物館、体育館等の生涯学習施設の統廃合	佐渡市図書館ビジョンの中で、市民の課題解決を支援する等佐渡市全体の問題を、あたかも縦割りで解決するような書きぶり等々、図書館が果たすべき役割の基本を見据えた上でのビジョンとして欲しい。継続については不要としているが、図書館ビジョンを踏まえた事業評価は必要ではないか再度検討していただきたいと考えるが、いかがか。 ①博物館が現状の数では今後のメンテナンス費用が甚大である。「今後の博物館のあり方」をしっかりと検討し、いち早く集約化計画を作る必要があると感じるが、いかがか。 ②数年前より、相川博物館などで、収納品のデジタル化を進めていたはずである。今後もデジタル化を積極的に進め、集約した博物館で映像で供するような仕組みとしたら良いと感じるが、いかがか。 ③図書館業務は、「臨時職員で回せるから、このまま継続」の意図が感じられる。そうであれば、業務委託等のアウトソーシングを考えるべきではないか。民間の知恵が入った方がより良いサービスが期待されると考えるが、この点についてどのように考えているのか。	社会教育課 社会教育課	佐渡市図書館ビジョンにおける図書館像の基本的な5つの柱に沿って、具体的な事業計画を策定し、事業評価を行う予定である。 ①博物館のあり方については、H30年度に博物館整備計画について有識者との会議を開催し、課題の整理と収蔵庫の整備計画について検討を行ったところであり、今後集約化を含めた整備方針等を作成する必要があると考える。また、分散保管している資料の集約化についても必要と考え、旧後山小学校体育館を収蔵施設として改修するため、現在用途変更等についての業務を併せて進めている。 ②収蔵品のデジタル化については、資料のデジタル化(データベース化)に取り組んでいる状況であり、今後の公開に向けて検討を行っている。 ③図書館(室)では、H29年度に各図書室への職員配置(臨時職員)と土日の開館を、H30年度に祝日の開館を行った。また、各図書館(室)の職員は、貸出・返却業務のみならず、レファレンスや資料の受入れ、相互貸借、ボランティアや小中学校等との連携のもと、おはなし会や読み聞かせなどのイベント企画開催などの多様な業務を市民との密接な関係の中で行っている。現状、中央図書館以外の図書館(室)は、中央図書館の地区図書館及び分室と位置付けられており、業務委託を行う場合は、全館・全室の対応が必要となり、コスト削減には繋がらないと考えられ、アウトソーシングには馴染まないものとする。

①NO.	②具体的な取組項目	③質問事項	④担当課	⑤担当課からの回答															
9-3	時間外勤務の縮減	<p>①「時間外勤務の多い職員を把握し、所属長に状況確認を行った」とのことであるが、実際、このようなケースは何件程度あったのか。</p> <p>②①のような場合、時期・部署等で、何か特徴的な傾向があったのか。</p> <p>③所属長にフィードバックする以外に、総務課として、他の改善策を講じたか。</p> <p>④職員の業務の生産性向上に向け、総務課として、何か施策を講じたか。</p>	総務課	<p>①月間の時間外勤務時間が60時間を超えた件数は25件である。</p> <p>②例年、時間外勤務が多い部署の傾向として、イベントや行事が多い観光振興課、社会教育課である。他の傾向としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道課：水道管の老朽化に伴う漏水対応。 ・会計課：年度末の出納閉鎖期間の審査等業務(4～5月)。 ・税務課：給与支払報告書確認業務(1月)。 <p>その他H30年度の状況としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設課：開港150周年事業。 ・観光振興課、農業政策課、企画課：会計検査対応。 ・総務課：選挙事務(5月県知事選、3月統一地方選)。 <p>などがあった。</p> <p>③業務の平準化について、時間外勤務が多い部署の所属長に依頼するとともに、週休日等の振替えについては、事前に振替日を指定させるようお願いしている。</p> <p>④若手職員(入庁3年目までの職員)と市長との意見交換会、懇親会をH30から実施し、若手職員のモチベーション維持・向上につなげている。</p>															
		<p>①数値としては目標を達成しているが、市長の話では正規職員数の抑制分の臨時職員の数値が増加しておりコストに疑問があるとのことだが、時間外手当と臨時職員増分の対比はどの程度(どちらがコスト的に安く済むか)となったのか？</p> <p>②①番の比較検討をした際に、時間外労働手当の基準値は平均値をとって検討したのか？(職員の給与額が初任とベテランで違うため)</p>	総務課	<p>①以下にH29年度とH30年度の時間外勤務時間手当額及び臨時職員の賃金額の決算額を示す。</p> <table border="1" data-bbox="1402 774 1859 901"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外勤務手当</td> <td>96,733,210円</td> <td>126,697,290円</td> </tr> <tr> <td>臨時職員賃金</td> <td>65,826,135円</td> <td>43,616,677円</td> </tr> <tr> <td>合計額</td> <td>162,559,345円</td> <td>170,313,967円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(▲7,754,622)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>結果として、H29年度とH30年度では、臨時職員の賃金が増となっているが、H29年度の合計額は上回っていないため、時間外勤務時間の削減の方が、財政効果はあると考える。</p> <p>②平均値を用いた比較検討は行っていない。</p>		H30年度	H29年度	時間外勤務手当	96,733,210円	126,697,290円	臨時職員賃金	65,826,135円	43,616,677円	合計額	162,559,345円	170,313,967円		(▲7,754,622)	
	H30年度	H29年度																	
時間外勤務手当	96,733,210円	126,697,290円																	
臨時職員賃金	65,826,135円	43,616,677円																	
合計額	162,559,345円	170,313,967円																	
	(▲7,754,622)																		
10-1	人材育成基本方針の適正な運用	<p>①階層別研修参加者数が計画値に対し低迷している。H30年度はどのような改善策を講じたのか。</p> <p>②専門研修の参加者数はいつも計画値を上回っている。研修を受けた職員の業務生産性の把握や人事ローテーションにおける活用について実例を示されたい。</p> <p>③「自己啓発」は先進地視察だけではない、インターネット教育や通信教育も含めるべき」と何度も指摘している。変わらないのは何故か。</p>	総務課	<p>①一部研修、二部研修については、職員個々に直接連絡を取り参加を呼びかけている。</p> <p>②専門研修は、内容によって係内での研修及び情報共有を行っている。また、必要に応じて研修受講者を講師とした研修会を開催し、担当職員の業務遂行に役立てている。</p> <p>③ご指摘を踏まえ、今年度から研修に含めるようにしていく。</p>															